

12月3日(日)にサンプルルームで

クリスマススワッグ&正月飾りのイベント

を行いました。

午前と午後に分けて開催し、素敵な作品がたくさんできました



当日はお天気も良く、参加して下さった方は、たくさん用意してある素材を組み合わせ、オリジナルな作品を作られていました!

本物の植物と、イミテーションの飾りなどを組み合わせ、クリスマスらしい華やかな、個性あふれる作品ができましたよ。

イベントは、久しぶりでしだし、開催するかも悩みましたが、今回も参加して下さった皆様の笑顔を見てやはりイベントは楽しいって思いました。

また春にも計画していますので、
次回のイベントをお楽しみに!!



出来上がったスワッグはどこに飾ろうかしら〜♪



こんな正月飾りもステキ!



普段は打ち合わせをしているサンプルルームがその日はクリスマス仕様に

スワッグとは、

ドイツ語で「壁飾り」の意味

で、花や葉、実などの植物を束ねて壁に掛ける飾りのことを指します。主に、ドライフラワーやプリザーブドフラワー、アーティフィシアルフラワーなどがよく使われます。

スワッグは、逆さに吊るす飾り方が定番ですが、壁に立てかけたり、そのまま置いて飾ってもOK。

スペースやインテリアに合わせて、飾り方を工夫しながら楽しむことができます。

花のある生活を 〜南天〜

南天は【災難(なん)や難(なん)関を転(てん)じる】に通じるから縁起の良い木と言われています。福寿草と合わせると「難を転じて福となす」という意味になり、とても縁起が良いかけ合わせになるので、お正月前になるとホームセンターなどでセットで売られているのを見かけます。

江戸時代から明治にかけて品種改良が進められ、100種以上の園芸品種が作られたと言われています。現在でも40種ほどが栽培されています。



どちらかというと、花よりも葉や実を楽しむ植物です。

実らせた赤い果実を利用した正月飾りやアレンジメント、一輪挿しや盆栽など見かけたことがあると思います。

一年中葉がある常緑樹ですが、鮮やかに紅葉したり、実がなったりと季節ごとの姿を見せてくれる、大きくなり過ぎない木として最近では庭木として再注目されています。

実は色々な葉色や形があって洋風なお庭にもおススメ!



南天のど飾り